

は し が き

中国人口は、1990年人口センサスによると11億3368万人で、全世界人口の約22%を占めている。中国は1960年代は2.5%をこえる高い人口増加率から、70年代に入ってから急速に低下を始め、80年代は1.4%へと先進国水準に到達した。中国の人口動態の急速な変化は、社会経済の変動と共に、政府主導の強力な家族計画の成果であるといえよう。

本書は、アジア経済研究所が、平成元年度以来実施している「中国人口の変動要因分析」研究会（主査：早瀬保子統計調査部研究主任）の成果の一部である。本書は、平成元年度刊行の中国の静態統計を中心とする「中国の人口統計」に引き続き、中国の人口政策関連規定集と出生、死亡、移動に関する人口動態統計を時系列に編集したもので、国際的な比較可能性をも考慮しており、中国人口の動向を知る上で有用な資料であると考えている。また、本書には中国人口変動に関する小論文と地区別の人口指標および経済指標の地図も掲載しており、中国経済理解の参考に寄与するものと考えている。

本書の編集は、早瀬保子と川俣青子が担当したが、編集の過程において、翻訳家の内海潤子氏並びにアジア太平洋統計研修所講師のM. Mosleh Uddin博士には、中文英訳や英文監修にご協力頂いた。ここに厚く謝意を表す。

この研究にご参加頂くとともにさまざまなご助言、ご協力を頂いた厚生省人口問題研究所所長河野稠果氏、アジア太平洋統計研修所講師上田耕三氏、アジア経済研究所客員研究員黄荣清氏（北京经济学院人口経済研究所副教授）はじめ研究会委員の方々に深く感謝するとともに、今後の一層のご協力をお願いしたい。

平成3年3月

アジア経済研究所

統計調査部長 岩崎 輝行